

600号発刊おめでとうございます

倉 田 豊

この度は、柏崎市刈羽郡医師会報600号の発行を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。創刊から50年以上と伺い、ご開業されている諸先輩方が築き上げられた歴史の重みを強く感じておりますと共に、柏崎市刈羽郡医師会の益々のご発展を祈念しております。

さて、巷では物価の上昇が止まりません。米国の連邦準備理事会も欧州中央銀行も利上げによるインフレーション対策へと舵をきっていますが、日銀に大規模緩和を修正する気配はなく、我が国ではインフレがまだまだ継続すると予想されます。

一般企業は上昇した原材料コストや人的コストを価格に転嫁できますが、我々は保険診療という枠に嵌められている為に収入を増やす手段には限りがあります。個人的な予想ですが、24年の診療報酬改定具合次第では小泉政権による医療改革時並み、もしくはそれ以上に医療業界にとって厳しい時代が来るのではないかと危惧しています。診療材料に詳しいという理由から、当時に勤務していた病院で経営コンサルタントと共にコスト削減や収益の最大化を目的とした効率化に取り組んだ経験があるのですが、結果を出す為に本当に苦労した思い出があります。

そもそも診療所、病院には公共性があり、利益追求が絶対的な目的ではありません。そのため、効率化を追求する一方で、地域医療や患者さん中心の医療を提供することが重要です。人件費、診

療材料費、設備費、維持費の高騰という外的要因があっても、我々は常にその使命を念頭に置き、地域住民の健康を支える役割を果たし続ける必要があります。中でも病院と診療所の良い関係は、柏崎刈羽地域の医療サービスを改善するために必要不可欠な要素のひとつです。

昨年末の社会保障審議会医療部会でも議論されていましたが、今後の病院のあり方は、地域医療のポータルとなる「かかりつけ医」に対するバックアップが重要な役割となっていくと思われます。患者さんからだけでなく、開業されている先生方からも選ばれる病院を目指さなければなりません。

現在、果たして紹介先としての当院は先生方のご満足を得られていますでしょうか。医師不足により他施設からの出張医師も多く、短期間で担当医が変わってしまう事も多々あります。紹介先と紹介元が一層の信頼関係を築き上げ、情報伝達や治療方針決定過程を明確化していくことが、今後の課題ではないでしょうか。

医療だけが充実していても地域は発展しませんが、医療が充実していなければ確実にその地域は過疎化を迎えるといえます。柏崎市、刈羽郡のためにも病院診療所間の更なる連携を深めていきたいものです。コロナ禍がおちつきましたら、顔を拝見しながら忌憚のないご意見を頂戴する機会が増えますことを望んで止まない次第です。今後ともよろしく願いいたします。

